



高知若草特別支援学校 相談支援室

若草わかば便り

R2/3/6
No3

高知市春野町弘岡下 2980-1、TEL088-894-5335、FAX088-894-2965

春の便りが待ち遠しい頃となりました。今年度も本校の地域支援にご理解いただき、また「若草わかば便り」に目を通していただきありがとうございました。今回は1年間のまとめとして、地域支援や本校で実施する就学前教室「わかば教室」等についてご報告させていただきます。

地域支援の内容等



☆校外に訪問して実施した支援

保育園・幼稚園、小・中学校、高等学校に訪問し、肢体に不自由のあるお子さん、発達障害等のあるお子さんの支援について先生方と一緒に考えることや、研修の実施等を行い、今年度は200件近くとなりました。

肢体不自由のあるお子さんを初めて受け入れる保育園では、園長先生や担当の保育士さんを中心に園での生活や活動について一緒に考える機会となりました。保育園、小・中学校では、自然な“共生社会”での生活が繰り広げられており、遊びや学びの中での「できるための工夫」が仲間から発信される様子も多く見られました。

小・中学校の肢体不自由特別支援学級では授業を参観し、授業づくりや支援について考えました。個別の支援の工夫について本校での実践例等をもとにお伝えするだけでなく、学年や学級の大きな集団の中での支援の工夫について、児童、生徒の実態に応じた教材の工夫等について学ばせていただきました。継続してかかわりのある児童・生徒さんの成長に目を見張る場面も多くありました。

☆本校に来校などの形で実施した支援

今年度は90件近くの相談や支援、研修の機会がありました。本校の教育や校内の施設や設備の見学、就学前教室「わかば教室」等を行いました。わかば教室には4~5歳児のお子さんと保護者、保育園の先生が来てくださり、日頃の活動と一味違った大きな動きを取り入れた遊び(遊具やわかばパイダー)を中心に取り組みました。お子さんは日常とは少し違う活動や姿勢を経験し、気づきを表現したり、表情が変わったり…。毎回微笑ましい雰囲気の中で活動しました。



夏季休業中の公開講座には地域の保育園や関係機関から参加いただき、感覚のつまずきや子どもをとらえる視点について、食事支援について本校の取り組みも踏まえ、一緒に学ぶことができました。

地域とのつながりや協働する取り組みについてご理解いただきありがとうございました。地域とのつながりは相談支援室のみでなく、本校の児童生徒さんの居住地校等との学習や、日々の学習の中で様々な機関や施設等とつながることが大きな成果となっています。

今後も、様々な形で地域とつながる様子を発信していきたいと考えています。

今年度も若草わかばだよりをお読みいただき、ありがとうございました。

相談支援室